

ユーザーレポート

User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

京浜急行バス株式会社

ALC-PRO IIを使用した乗務時間管理！ 乗務時間に合わせてアルコール測定

京急グループ傘下の会社。東京ベイエリアから神奈川の三浦半島エリアまでの路線バスの運行や、羽田空港・成田空港へのリムジンバス、アクアラインバスの運行を手がけている。

ご利用機器

- ・設置型アルコール検知器ALC-PRO II
- ・ALC-Mobile II
- ・ALC-Mini III



導入のきっかけ

運用に合わせた改善により
管理方法の統一化も実現。

従来は、各営業所に権限を与え労務管理を行っていましたが、営業所ごとの管理方法にバラツキがありあることが課題となっていました。監査において、アルコール測定を行った時間から拘束時間開始との指導があり、乗務開始時間の30分前でないとアルコール測定できない仕組みをALC-Recカスタマイズで実現し改善することができました。



製品導入による 効果・感想

出遅れ・点呼漏れを防止
安全を強化することが可能に。

出発時刻の30分前でないと測定できないため、導入当初は現場で戸惑いを隠せませんでした。時間が経つごとに営業所でスムーズな運用が可能になりました。

労務管理の改善だけでなく、運転士の意識も変化しました。具体的には、運転士一人ひとりが乗務ダイヤ確認を行うことが習慣化され、出遅れ防止として活用できているほか、点呼漏れを防ぐことが可能になり、安全を強化することができるようになりました。



安全への取組み

健康起因事故への対策強化。

会社全体で、脳検査、SAS（睡眠時無呼吸症候群）の検査を定期的に行い健康起因事故の対策を行っています。

今後は、ALC-PRO IIと血圧計・体温計を連動させ一元管理を行う構想があるなど、お客様、社員の安全を守るために、積極的に健康起因事故を防止する機器に投資を行う方針です。

取材ご協力

京浜急行バス株式会社

安全推進部 課長 菅原 徹 様

安全推進部
事故防止担当 主席事務員 原子 一民 様

〒220-0011
神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号



取材 後記

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間中であったため、機器の導入に関する打合せは全てWEB会議にて実施しました。

当初は、お互いに見たい資料がすぐに出せないことや、思いが伝わらないなど慣れない環境で困惑することもありましたが、回を重ねる毎に慣れ、マッチする仕様の開発・導入に至ることができました。